

女性協ニュース

FAX:03-3875-6270 e-mail:n-ask@irouren.or.jp

母性保護月間♡♡♡生休・年休・連休♡♡♡ 3休を取ろう

下記の記事が3月1日の毎日新聞に載っていました。「子宮内膜症」の反響。100人に1人が月に一度猛烈な痛みをかかえ不便を感じ、みんなそうなんだろうと我慢をしている実態が書いてあります。3月～5月は母性保護月間！この月間中に、生理痛の痛みを我慢しないで生理休暇申請しよう！



育メンノート作成中

男性の育児休暇は、11年度は過去最高の2・63%。改正育児・介護休業法が施行された前年度（1・38%）からほぼ倍増しましたが、なかなかまだまだ育休を取る男性は少ない実態があります。背景には「育児は妻の役割」という古い観念だけでなく、「昇進に影響が出る」「周りに迷惑をかける」「言い出しづらい」といった男性の根強い懸念があるようです。しかし育休を利用したいと考える男性は31・8%という結果が出ています。私たち女性が“家庭も仕事もいきいきと”働き続けるためにも女性自身が「育メン」を広げていく必要があります。（4月末完成予定です。）

僕（カイ君）が 育児休暇や育児について、詳しく解説します。どうぞ期待！



「子宮内膜症」の反響

あらら、もう3月。ほんたのは、なんと書いちゃってもうとに!?
正月から劇痛に苦しむようなスタッフ、二番目に小野アウンサーのIQの高さと愛嬌でしょう。



2月20日放送の「子宮内膜症」という女性特有の病気をテーマにした番組では、女性ディレクターのすさまじい執念を見ました。

男性陣に女性ディレクターは強く訴えました。100人に1人が月に一度、猛烈な痛みで日常生活に不便を感じていること。患者は、病気とはよく知ら

ず、この痛みは当たり前なんだらう、みんなそうなんだらう、と思ひ込み、ひたすら我慢で過ごしている人がたくさんいること。

この現状をなんとかしたい、今我慢し続けている人に教えてあげたい、の熱意が番組を成立させました。番組の最後にも色紙に書く今回の言葉は「テレビだから」。

去った2カ月です。

もっと驚くのは、私が司会の科学番組「ためしてガッテン」が、この4月で19年目に突入すること。ここまでの長寿番組を支えてき

世間の「おもしろい」から

番組制作の中に、誤が多いとされる子宮内膜症のメカニズムを人形劇型を使ってわかりやすく解説、すっ

私は、男性司会者として微妙な立場でしたが、女性ディレクターのアドバイスを受けなんとか進行ができたような気がしています。

見逃した方は、ぜひ「ガッテン・ホームページ」で放送内容を確認してみてくださいませ。

各県、ブロック、女性の取り組み

全医労 女性部ニュース No.291 2013年3月

全医労女性部は、地方協女性部会議を開催しました。

働きやすい職場作り より良い労働条件改善に向けて

第2回地方協女性部長会議を開催



二月二十六・二十七日、第二回地方協女性部長会議が開催されました。議題が閉じられ、各職場からの要望を聞き取り、継続される環境作り、未実施項目の積極的取り組みが交わられました。

二月二十六・二十七日、第二回地方協女性部長会議が開催されました。議題が閉じられ、各職場からの要望を聞き取り、継続される環境作り、未実施項目の積極的取り組みが交わられました。

6月中に増員要求書を提出しよう!

2012年秋の女性部増員交渉では組織が「25年から経常収支削減改革の範囲内で採用できる24年度と比較しても枠は緩める」と回答。…7:1看護をとることによって人員は多くなった感がありますが、実際の職場の状況を見て!

要求を集約し、団体交渉を!

一人ひとりの小さな声を集約し、誰かが生き生き働き続けられるためには、職場の声を聞くことが大切です。聞くだけでなく、答え、返す会話を大切に、「年休は取れていますか?」ひとこと声をかけよう!

夜勤・交際制勤務はゆとりを持って!

働き続けられる職場! 『5局長通知』に続いて『10局長通知』が厚生労働省から発出されました。患者中心の安全・安心の医療・看護提供を第一に考えること。夜勤に有害業務、保護と規制はあたりまえ!

子育て支援・母性保護を!

制度を活用するために職場環境の整備と学習を。「妊婦制限」「結婚待ち」「無理な24時間保育の導入」など職場の実態を把握してききあわせ、ワークバランスを!



女性部ニュース

岩手医労連第54回女性労働学校

長生きの性＝女性であるからこそ多くの人と関わる

講演 Women's Mental Health II

岩手医労連女性部は、2012年2月16日(土)「第五回女性労働学校」を県民会館ホールで開校。参加者は例年より少ない二連組(二名)講師(各二名)が、二名の企画も充実した内容でした。

講演「Women's Mental Health II」講師 佐々木由佳先生(県立中央病院医師)

講演では、「性差と年齢によるメンタルな変化があるが、長生きの性(女性)であるからこそ多くの関わりによって、見聞き、感じ、考え、できること、可能である。自分自身を肯定し、与え合った「一人」を守りたい。多くの世代と交流し体験を伝えました」と語られました。

講師①「産後が危険!」 社会復帰後、産後うつを体験した経験者として、気血溜し花工房の先生から、押し花の作り方や、山で採った花をドライフラワーにする方法を教わりました。

講師②「押し花アート」 参加者で、二名の押し花工房の先生から、押し花の作り方や、山で採った花をドライフラワーにする方法を教わりました。



No. 84

2013年2月28日

発行部数 10,000部

は、文章だけ見ると私達の暮らしに通じているものがあるが、現実にこのように、向かいあう方向性がある。多岐にわたる分野から、様々な意見や考えが寄せられ、今年夏には参院選選挙がある。選挙反対、社会復帰制度を守りたいなど、強く実感しました。

2012年度常任委員名簿

役職名	氏名	出身学	担当
委員長	1 工藤 美奈	盛岡大学看護学部	行政・総務
副委員長	2 千葉 麻衣	全医労岩手支部	行政・総務
常任委員	3 藤田 明子	盛岡大学看護学部	行政・総務
常任委員	4 大石 千枝子	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	5 鈴木 寿子	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	6 古川 明子	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	7 白藤 美奈	盛岡大学看護学部	行政・総務
常任委員	8 藤原 美奈	全医労岩手支部	行政・総務
常任委員	9 佐々木 千枝子	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	10 藤田 明子	盛岡大学看護学部	行政・総務
常任委員	11 佐々木 寿子	盛岡大学看護学部	行政・総務
常任委員	12 赤坂 美奈	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	13 大石 千枝子	岩手医科大学看護学部	行政・総務
常任委員	14 佐々木 美奈	盛岡大学看護学部	行政・総務
常任委員	15 寺口 美奈	盛岡大学看護学部	行政・総務

医療労働者の生活と権利を守り国民の医療を向上させよう

長野県医労連女性部機関誌 2012年度NO.3

2013/2/21発行

いろいろん女性部ニュース

毎年恒例の旗開きを開催!
母性保護DVD学習とツボ押し講習

心も体も健康に。2013年も元気に女性部活動をスタート

2月15日、女性部では毎年恒例の「旗開き」を、長野市JAビルで開催しました。季節柄インフルエンザの流行で勤務が短くなるなどで参加者は、33名と少し寂しかったのですが、参加したみんなは元気がいっぱい、今年最初の「食べれば食べるほど学び行動すれば」を体験しました。

関女性部長の挨拶のあと、県医労連から小林執行委員長は、60回を目前にした日本母親大会に挑戦、「年々運営や参加者が高齢化している。今こそ現役の私たちが歴史を引き継いで運動の先頭に立たないといけない。そういう視点からもこの女性部の活動は益々大事になっている。」と話されました。

続いて全労連女性部が作成した「母性保護DVD」を全員で鑑賞し、女性の身体の特徴や生理休暇がなぜ必要なのか、妊娠や更年期障害など、母性保護の重要性を学びました。

DVDを見た20代の組合員からは「これから妊娠、出産といった時期を迎えるのでとても参考になった」と話していました。



又女性部喜び声

「生理休暇は生理時につらから取るということだけでなく、妊娠、出産、更年期という女性の一生において様々な影響があるから取るべき」ということがわかった」との感想が聞かれました。

DVDは20分程度のものなので、半日で観賞するのでも構いません。撮影もDVDがありますので、ぜひご覧ください。

その後、元・元久病院長の産科の大工原洋江さん女性の不調や毎日の疲れに効くツボの講習をした。ツボは全身に365ヶ所あるそうですが中から、肩こり、腰痛、肩凝り、足のむくみ、解熱に効くツボなど、いくつかを覚えてもらいました。特別な道具もなく、まさにツボを指すだけで圧を加えるだけで身体が楽になったりホカして頂くことを体験しました。

後半はいつものように各地のお菓子や手作りパン、フルーツなど食べきれないほどのものを食べながらグループで交流し、毎日のや生理休暇の取得状況などの情報交換が盛ん

いきいきと輝くあなたであるために〜

自分の体 母性保護

自分の体を健康に保つことは、自分自身と大切な人を守ることに繋がります。

母性保護とは、妊娠中や産後、更年期など女性の健康を守るための様々な取り組みのことです。

母性保護の重要性を学び、自分自身の健康を守り、大切な人を守りたいと思います。

母性保護の取り組みを支援する企業や団体を募集しています。

今年も女性部・青年部合同の交流会の予定です。
今回は風流な5月に安曇野方面で、食の安全についての学習会とおいしいランチ、安曇野の魅力を再発見する楽しい企画を考えています。
詳細が決まり次第お伝えしますので、ごちそう期待!

岩手県医労連女性部は、女性労働学校を開催! 今、女性の権利アンケートも取り組んでいます。

東京医労連は女性部の立ち上げ準備企画として、ポーセラート体験を予定しています。

ポーセラート体験

東京医労連女性部準備企画!

ポーセラート体験してみませんか。ポーセラートとは、白磁器に絵柄のついたセラミック製の食器です。絵柄が乾いて、オリジナルの食器を作ることができます。絵柄が乾いたら、専用の絵の具で、自由に描いてください。絵柄が乾いたら、専用の絵の具で、自由に描いてください。絵柄が乾いたら、専用の絵の具で、自由に描いてください。

ご自分だけでなく講師の池田先生も、お茶のホームページ! <http://www.tateoka-welcomes.net/>

日時: 2013年5月18日(土) 14:00~17:00

会場: 東京勤医会代々木病院東館向かい 日本パーティービル1階102会議室 (最寄駅はJR千駄ヶ谷駅、地図参照) 1点1,000円(大きな皿などは2,000円)

お問い合わせは東京医労連事務局 電話: 03-3792-7191 FAX: 03-3792-7193

会場: 代々木 池田先生

長野県医労連女性部は旗開きに女性の権利DVD学習会とツボ押し講習。青年部と合同で食の安全学習会を予定しています。